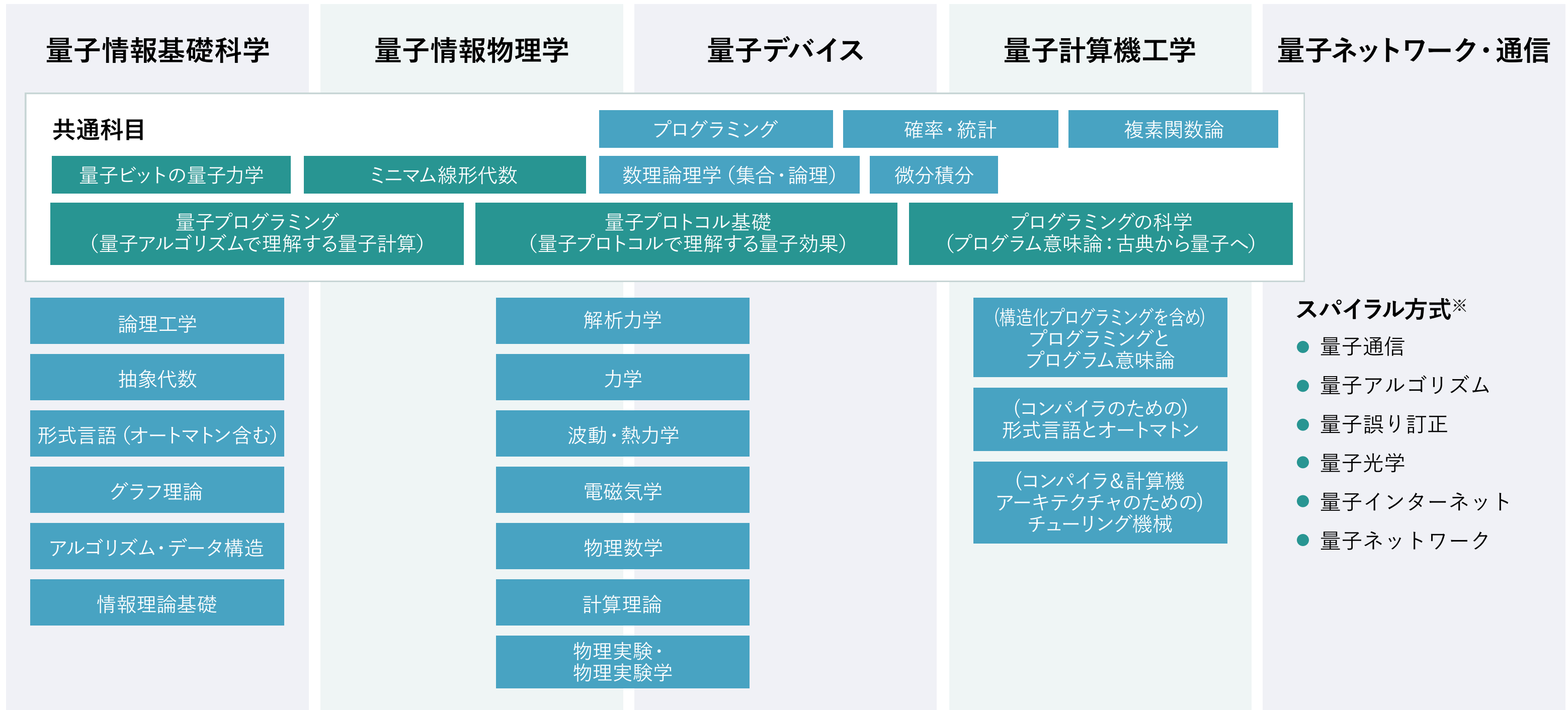


カリキュラム標準モデル

学部前期（1、2年生）



※スパイラル方式

スパイラル方式とは、学生がカリキュラムを進む中で、同じ学習テーマについて繰り返し学ぶ機会をもつ方法で、学年が上がるごとに同じテーマでも内容の難易度が増すように設計する方法である。新しく学ぶ内容に対して、すでに学んだ内容を結びつけることができるようになっていくことを特徴とする。スパイラル方式を採用することで、同じテーマの学びを繰り返す機会を得ることで知識が定着しやすいこと、簡単な概念から複雑な概念への発展において論理的な理解を助ける、初期に習った基礎的な事項について、より高度な内容へ応用する機会を持ちやすい、といった利点があると考えられている。